



母の会では、これまでの春と秋の交通安全運動期間の通学路での街頭指導に加えて、小中学校で行われている交通安全教室への参加を通して、児童、生徒と一緒に交通安全学習を行いました。菊水南小学校では「母と子の自転車教室」と題し講習会も行いました。また、山太郎祭りでシートベルトの体験コーナーを設けて啓発活動を行いました。

「最初は、私たちにできるのだろうかという不安だけが先立ち、また、他の会員からも消極的な意見が聞かれましたので私自身も不安でしたがありませんでした」と、笑顔で話されます。

婦人会同様、母の会も会員数が減少し、存続が厳しい状況になっているのが現実です。そんな中での今回の受賞は、大きな自信につながったことだと思えます。

「災害など何か起こってからなかなか迅速な行動はで

きないものです。その時に意思疎通がスムーズにできるためのコミュニケーションの場と思っています。お互いの顔を知ることと地域のつながりができ、交通事故防止だけでなく、さまざまなことに効果が期待できます。

「婦人会という枠にとらわれず、地域でさまざまな活動を行っている方たちと交流ができたらいなと思っています」。

菊水地区には、このような組織がたくさんあります。ただ一方でその組織の存続が心配されています。

「町が何かをしてくれるのを待っているの

ではなく、私たちが知恵を出し合っていかなければいけない時だと思えます」と笑顔で浮かべられました。

これからの住民組織の在り方を考えさせられました。



高齢者の集会での交通安全の呼びかけ、小学校で行われる交通安全教室での児童への指導、通学路での街頭指導など地域の交通事故防止のために活動されています。

【きくかわ・よりこ】
前原在住。和水町交通安全母の会会長。交通安全活動が認められ交通安全功労者団体として県知事表彰される。和水町地域婦人会長でもある。61歳。

和水町交通安全母の会

会長 菊川 ヨリ子さん(61歳)

地域に即した、

地域の特徴を伸ばせる

組織づくりをしていきたい。

熊

本県警察本部が調査した平成18年1～5月の交通事故統計によると、高齢者の事故率は和水町が最も高いという結果がでました。私たちの住む町でも頻繁に交通事故が発生していることがわかります。

昭和55年、町婦人会の結成と同時に交通安全母の会が結成されました。婦人会長と母の会会長を務められている菊川さんは、今年で3年目を迎えます。

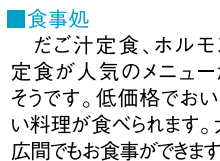
平成17年度、県から交通安全推進活動の指定を受けました。先日、その功績が認められ、交通安全功労者団体として表彰を受けられました。「指定を受けたことで積極的に取り組むひとつのきっかけになったようです。1年間手さぐりで取り組んできた活動を終え、充実感と、またこれから先の意欲が伝わってきます。



あばかん ハウス 家



■大広間
入館料で一日のんびりとくつろげます。大広間で休憩した後、もう一度、お風呂に入ってくつろいでください。



■食事処
だご汁定食、ホルモン定食が人気のメニューだそうです。低価格でおいしい料理が食べられます。大広間でもお食事ができます。



■あばかん家
営業時間 午前9時～午後9時
休館日 毎月第2木曜日(祝日の場合は翌日)
入館料 町内 65歳以上 200円
65歳以下 400円
小学生以下 200円
町外 大人(中学生以上) 500円
小学生以下 300円
問い合わせ先 ☎0968・34・2155



■大浴場
大浴場は、とても眺めがよく、開放感にひたれます。適応症／神経痛・筋肉痛・関節痛・慢性消化器病・冷え性・疲労回復



■サウナ
サウナも人気のひとつになっています。



■水風呂
こんな水風呂もあります。これからの暑い時期にいかがでしょうか？

平成11年4月1日、三加和町が全額出資の法人「株式会社肥後元気村」がスタートしました。ふるさと交流センター、緑彩館、そして「ふれあいの森・あばかん家」。3つの施設は、それぞれにいろんな魅力を持っています。「あばかんに行こう」。そして「あばかん(いっぱい)楽しんで極楽、極楽!」というのが「合い言葉」です。



■ギャラリーみかわ
あばかん家の一つの特徴として地域の芸術・文化とふれあうことができます。常時町内在住の芸術家の作品が展示されています。また定期的に各方面の芸術家の作品展示も行われています。

あばかん家 に 行こう

平成8年4月にオープンした「あばかん家」。もつひとつの三加和温泉をお楽しみください。

※「あばかん家」の「あばかん」とは、熊本弁で「たくさん、いっぱい」という意味があります。

